

ロジックモデル(へき地医療)に関する論点

1 目指す姿(分野アウトカム)について

- 記載内容
 - ・ 長野県が目指す、「あるべき県民・患者の状態」として適切か
- 指標
 - ・ 記載内容を評価する指標として適切なものはあるか

2 中間成果(中間アウトカム)について

- 区分
 - ・ 区分の分け方、記載内容は適切か
- 記載内容
 - ・ 目指す姿(分野アウトカム)に繋がる、「県民・患者の状態」「医療サービスの状態」として適切か
- 指標
 - ・ 記載内容を評価する指標として適切なものはあるか

3 個別施策について

- 「へき地における医療従事者の確保」について
 - ・ 次期計画において重点的に取り組むべき施策はなにか
- 「へき地における医療等の提供体制の確保」について
 - ・ 7次計画からの変更点として、医療人材の効率的な活用や有事対応の観点から、オンライン診療を含む遠隔診療の普及促進を進めていく必要があると考えるが、どのような取組や検討が必要か

- 国の医療計画作成指針を踏まえ、へき地医療拠点病院における主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の取組向上を進めるべきか
- 前回のWGにおいて、オンライン診療・遠隔診療でできる医療は限られており、実際に医療機関に来ることが難しい交通弱者の足をどうやって地域として確保するかが重要。との意見があったが、医療機関等までの交通手段の確保についてどのような施策が考えられるか
- そのほか、次期計画において重点的に取り組むべき施策があるか



